

ICH E2B (R3) 検証用機器等の導入及び 保守業務調達仕様書

平成 2 5 年 3 月

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

目 次

1	調達件名	1
2	前提条件	1
3	作業の概要	1
	（1）目的	1
	（2）用語の定義	1
	（3）業務の概要	2
	（4）情報システム化の範囲	2
	（5）作業内容・納入成果物	2
	（6）検収	3
4	情報システムの要件	4
	（1）機能要件	4
	（2）画面要件	4
	（3）帳票要件	4
	（4）情報・データ要件	4
	（5）外部インターフェース要件	4
5	規模・性能要件	4
	（1）規模要件	4
	（2）性能要件	4
6	信頼性等要件	4
	（1）信頼性要件	4
	（2）拡張性要件	4
	（3）上位互換性要件	4
	（4）システム中立性要件	4
	（5）事業継続性要件	5
7	情報セキュリティ要件	5
	（1）権限要件	5
	（2）情報セキュリティ対策	5
8	情報システム稼動環境	5
	（1）全体構成	5
	（2）ハードウェア構成	5
	（3）ソフトウェア構成	5
	（4）ネットワーク構成	5
	（5）アクセシビリティ要件	5
9	機器等の要件	5
10	データセンターについて	6
11	機器等の設置、動作試験、検証	6
	（1）機器セットアップ、動作試験	6
	（2）搬入・設置	7
	（3）機器配線	7
12	保守要件定義	7
	（1）ソフトウェア保守要件	7
	（2）ハードウェア保守要件	8
13	移行要件定義	8
	（1）移行に係る要件	8
	（2）教育に係る要件	8
14	運用要件定義	8

(1) システム操作・監視等要件.....	8
(2) データ管理要件	8
(3) 運用施設・設備要件.....	8
1 5 作業の体制及び方法	8
(1) 作業体制	8
(2) 開発方法	8
(3) 導入	8
(4) 瑕疵担保責任	9
1 6 特記事項	9
(1) 基本事項	9
(2) 各業者との役割分担等.....	9
(3) 入札制限	9
(4) 応札条件	1 0
(5) 知的財産等	1 0
(6) 再委託	1 0
(7) 機密保持	1 1
(8) 遵守事項	1 1
(9) 作業場所	1 2
(1 0) 環境への配慮	1 2
(1 1) その他	1 2
1 7 窓口連絡先	1 2

1 調達件名

ICH E2B(R3) 検証用機器等の導入及び保守業務

2 前提条件

- ① 稼動中システムの正常動作を保証し、通常業務に重大な影響を与えないこと。
- ② 受注者は納入するソフトウェアに障害等が発生した場合に備え、ソフトウェアの原因切分けのための窓口を設けること。
- ③ ICH E2B(R3)に基づく個別症例報告受付システム構築に係る検証支援業者等と調整を図り、打合せ等を行い、承認を経て機器導入を行うこと。
- ④ 独立行政法人医薬品医療機器総合機構が指定するデータセンターに導入すること。
また、導入後から平成 26 年 3 月 31 日までの本調達にかかるデータセンター運用費用も含むこととし、その契約は受注者が行うこと。
- ⑤ 本調達機器に搭載される検証システムの本稼働に立会うとともに、その正常稼働の確認が取れるまで、検証支援業者に必要な支援等を行うこと。

3 作業の概要

(1) 目的

現在、医薬品の規制に関する国際会議 (ICH) では、副作用報告のデータ項目及びメッセージ仕様の新規格である E2B(R3) (以下「R3」という。) を策定中である。独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (以下「総合機構」という。) で現在稼働している副作用等情報管理システム及び医薬品安全対策支援システムの個別症例報告受付機能及びデータベースについて、副作用報告の R3 に対応するために検証用システムを構築しているところである。

本調達は、検証用システムを動作させる機器等の調達を行うものである。

(2) 用語の定義

用 語	定 義
ICH	日本、米国、EU それぞれの医薬品規制当局と産業界代表で構成され、医薬品の規制に関する基準を国際的に統一することを目的に、医薬品の品質、有効性、安全性に関するガイドラインを作成している。
E2B(R3)	ICH におけるトピックの一つ。個別症例副作用報告のためのデータ項目について日米欧三極の共通使用を定めている。
副作用等情報管理システム	市販後及び治験中の医薬品副作用情報の受付、蓄積、検索解析等の支援を行うシステム
医薬品安全対策支援システム	医薬品副作用報告等の解析結果、データマイニング手法による統計学的評価、企業面談時の情報を統合することによる、安全対策業務の支援を行うシステム。

(3) 業務の概要

本調達は、薬事法に基づく副作用報告等の受付、情報の整理、医薬品の品質、有効性及び安全性に関する情報の収集、調査に関する業務のうち、医薬品に関する安全性情報（市販後、治験中の両方についての）を一元的に収集し整理する個別症例報告受付機能について、R3 に対応した検証用システムが動作する機器及びソフトウェアの購入並びに導入等である。

具体的には当該検証用システムに係る以下の事項とする。

- ① ハードウェア機器及びソフトウェアの調達
- ② ハードウェア機器の導入作業
- ③ ハードウェア、ソフトウェアの動作確認、設定作業
- ④ ソフトウェアの保守

(4) 情報システム化の範囲

本業務の範囲は、検証用システムが動作するサーバ機器の調達を行うものであり、これに伴う総合機構及び検証支援業者との協議、打ち合わせ等の出席を含む。

(5) 作業内容・納入成果物

① 調達対象工程

本調達は、以下に示す事項のうち、ア、イに係る工程を対象とする。

ア 導入作業

イ 保守支援

② 作業内容等

本調達においての、具体的な作業工程、納入成果物は下表に示したとおり。ただし、納入成果物の構成、詳細については、受注後、総合機構と協議し取り決めること。

作業内容・工程と成果物

項番	調達する業務内容	納入成果物	納入期日	SLCP-JCF2007 のアクティビティ
1	プロジェクト管理	・進捗管理、作業体制	契約締結日から 2 週間以内	1.2.4 計画立案 1.6.1 プロセス開始の準備
2	導入	・動作確認試験成績書 ・機器設置レイアウト図 ・ラック搭載図 ・配線図 ・機器等仕様書 ・機器等取扱説明書 ・機器等 (ハードウェア・ソフトウェア一式)	平成 25 年 4 月 19 日	1.6.3 システム方式設計 3.2.2 環境の構築

項番	調達する業務内容	納入成果物	納入期日	SLCP-JCF2007 のアクティビティ
3	動作確認	・テスト結果報告書	平成 25 年 4 月 19 日	1. 6. 11 システム適格性確認テスト 2. 4. 1 プロセス開始の準備(検証プロセス) 2. 4. 2 検証 2. 5. 1 プロセス開始の準備(妥当性確認プロセス) 2. 5. 2 妥当性確認
4	搬入・据付	・導入作業結果報告書	平成 25 年 4 月 19 日	3. 2. 1 プロセス開始の準備 3. 2. 1 環境の構築
5	保守	・保守手順書	平成 25 年 4 月 19 日	1. 8. 1 プロセス開始の準備 1. 8. 2 問題把握及び修正分析 1. 8. 3 修正の実施 1. 8. 4 保守レビュー及び受入
6	その他	・打ち合わせ資料 ・議事録	平成 25 年 4 月 19 日	1. 2. 6 レビュー及び評価
7	機器等一式	システム機能及び機器等一式	平成 25 年 4 月 19 日	—
8	必要な部材・工事一式	必要な部材・工事一式	平成 25 年 4 月 19 日	—

なお、納入成果物については、以下の条件を満たすこと。

- ア 文書は、今回改修に該当する開発箇所及び操作説明書、各報告書については、紙及び磁気媒体等（CD-R 又は CD-RW 等）により日本語で提供すること。
- イ 紙のサイズは、日本工業規格 A 列 4 番を原則とする。図表については、必要に応じて A 列 3 番縦書き、横書きを使用することができる。バージョンアップ時等に差し換えが可能なようにバインダー方式とする。
- ウ 磁気媒体等に保存する形式は、PDF 形式又は Microsoft Office2007 で扱える形式とする。ただし、総合機構が別に形式を定めて提出を求めた場合は、この限りではない。
- エ 紙及び磁気媒体については 2 部ずつ用意すること。

③ 納入場所

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構が指定するデータセンター

（６）検収

納入成果物については、適宜、総合機構に進捗状況の報告を行うとともに、レビューを受けること。最終的な納入成果物については、「２（５）作業内容・納入成果物」に記載のすべてが揃っていること及びレビュー後の改訂事項等が反映されていることを、総合機構が確認し、これらが確認され次第、検収終了とする。

なお、以下についても遵守すること。

- ① 検査の結果、納入成果物の全部又は一部に不合格品を生じた場合には、受注者は直ちに引き取り、必要な修復を行った後、総合機構の承認を得て約束した日時までに修正が反映されたすべての納入成果物を納入すること。
- ② 「納入成果物」に規定されたもの以外にも、必要に応じて提出を求める場合があるので、作成資料等を常に管理し、最新状態に保っておくこと。

4 情報システムの要件

(1) 機能要件

機能要件を「9 機器等の要件」に示す。

(2) 画面要件

なし。

(3) 帳票要件

なし。

(4) 情報・データ要件

なし。

(5) 外部インターフェース要件

なし。

5 規模・性能要件

(1) 規模要件

別途実施する検証業務では、一日あたりの受付件数は、約 1,000 件を想定している。

(2) 性能要件

別途実施する検証業務を問題なく実施できること。

6 信頼性等要件

(1) 信頼性要件

稼働中システムの正常動作を保証し、通常業務に重大な影響を与えないこと。

(2) 拡張性要件

なし。

(3) 上位互換性要件

なし。

(4) システム中立性要件

なし。

(5) 事業継続性要件

なし。

7 情報セキュリティ要件

受注者は、「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」(平成 17 年 12 月 13 日。情報セキュリティ政策会議決定)に定めるほか、総合機構が定める情報セキュリティの規定に基づき、対策を講じること。

(1) 権限要件

なし。

(2) 情報セキュリティ対策

なし。

8 情報システム稼動環境

(1) 全体構成

現行のシステム構成については別紙 1 のとおり。

(2) ハードウェア構成

構成等は「9. 機器等の要件 (1) ア、イ」に示したとおり。

(3) ソフトウェア構成

ソフトウェア構成を「9. 機器等の要件 (1) ウ」に示した各ソフトウェアを、調達したサーバ機器にインストールを行い、動作確認をすること。

(4) ネットワーク構成

現行のネットワーク構成については別紙 2 のとおり。なお、現在想定している導入後のネットワーク構成については、閲覧での対応とする。

(5) アクセシビリティ要件

なし。

9 機器等の要件

(1) 調達機器

ア. 設置場所等

- ① 総合機構が指定するデータセンターとすること。
- ② 必要な LAN ケーブルを提供すること。
- ③ 2U のラックマウント型のサーバとすること。
- ④ 現在据付けられている KVM スイッチに接続すること。

イ. ハードウェア条件 (参考例示 : PRIMERGY RX300 S7)

- ① 調達時点での最新機器とすること。(中古品は不可)
- ② CPU は、Xeon プロセッサ E5-2603 (1.80GHz/4 コア/10MB)以上の CPU を 1 個以

上搭載すること。

- ③ 主記憶容量は、4 GByte 以上搭載すること。
- ④ 磁気ディスク装置は、146GB(15000rpm、ホットプラグ対応)のハードディスクを2本搭載し、RAID1 構成とすること。また、インターフェースは SAS とすること。
- ⑤ LAN インターフェースは、10/100/1000Base-T ポートを2ポート以上有すること。
- ⑥ 内蔵ドライブは、DVD-ROM ドライブユニット（最大8倍速 DVD-ROM / 最大24倍速 CD-ROM）をサーバ本体に内蔵すること。
- ⑦ 質量は、31kg 以下であること。
- ⑧ 電源は、AC100V により正常動作すること。電源はホットプラグ対応の冗長化構成とすること。
- ⑨ ファンはホットプラグ対応の冗長化構成とすること。
- ⑩ EIA 準拠 19 インチラックに搭載及び収納可能であること。
- ⑪ ハード標準搭載ソフトウェアとして、以下の機能を搭載すること。
 - ・ハードディスクやメモリなどで故障に至る前の予兆監視が可能なこと
 - ・サーバを構成するプロセッサ、システムボード、LAN カードなどの部品の故障、異常を特定することが可能なこと
 - ・サーバの周辺、内部の温度、電源変動などの環境状況も監視可能なこと
 - ・監視コンソールには、故障したサーバ、ユニットと箇所がツリー構造でビジュアルに表現されること

ウ. ソフトウェア条件

- ① オペレーションシステムは、RedHat Enterprise Linux 6.3 とすること。
- ② ウィルス対策ソフトは、トレンドマイクロ ServerProtect for Linux と同等品以上とすること。

10 データセンターについて

本調達における機器設置にかかる初期費用、運用費用については本調達に含むものとする。なお、データセンターに関する詳細については、落札後に提示する。

1.1 機器等の設置、動作試験、検証

受注者は、計画に基づき、機器等の導入において、以下の業務を実施すること。

公示で使用する製品等は「電気用品安全法」「JIS 取得」にもとづいていること。

本番運用に影響を与えないように留意すること。

受注者は、契約後直ちに総合機構担当者と打合せを行い、下記事項について承認をえた後、構築、施工等に着手すること。

- ・工程表による導入スケジュール

(1) 機器セットアップ、動作試験

機器等の各種設定、OS、ソフトウェアのインストール等を行い、導入した機器等が要件を満たしていることを確認するための動作試験を実施すること。

- ・納入するハードウェア、ソフトウェアが正常に動作すること。
- ・ウィルス対策ソフトウェアのインストールを行い、パターンファイルの自動アッ

- ・アップデート機能及びウイルスチェック機能が正常に稼働することの確認すること。
- ・動作試験で問題が発生した場合も、問題を解決し、動作確認を終了すること。
- ・動作試験の結果を記録しテスト結果報告書に添付すること。
- ・尚、検証システムの本稼働に立会い、その正常稼働の確認が取れるまで、検証支援業者等に必要な支援を行うこと。
- ・その他、問題等発生の際は速やかに、総合機構および検証支援業者に報告し、指示等を受け、求められる必要な措置を講じること。

(2) 搬入・設置

総合機構が指定するデータセンターの既存のラックに機器等を設置すること(ラックマウント設置工事を含む)。

- ・データセンターが定める各種規定に従い作業を実施すること。
- ・機器等の設置場所に搬入。設置作業を行うための申請等を行うこと。
- ・機器等の搬入・設定を行うための現地事前調査を行うこと。
- ・搬入・設定作業に際し必要となる部材などの手配を行うこと。
- ・機器等の梱包物、搬入の際に使用した養生品及びその他不調となった資材を、設置完了後に速やかに撤去し廃棄すること。なお、環境への影響を考慮し、廃棄物は極力削減するように努めること。
- ・データセンターへの機器導入に係る初期費用については、総合機構の指定するデータセンター事業者に問合せを実施し、本件受注者にて負担すること。

(3) 機器配線

本調達の機器間及び既存のネットワーク機器と本調達の機器を接続するケーブル類の配線を行うこと。

- ・配線されたケーブルの色分けやタグの取付等、機器ごとのグループの分類を考慮すること
- ・ケーブルの配線は、運用、保守作業を考慮し、作業の障害にならないような整理、工夫をすること。

1.2 保守要件定義

(1) ソフトウェア保守要件

- ① 導入するサーバ等の機器類に搭載するソフトウェアについて受付窓口を一本化して保守を行うこと。
- ② 保守の内容は次の通りとする。
 - ア. 障害時に、搭載するソフトウェアとサーバ等の機器どちらかの切分け、及び解析に対する支援。
 - イ. 使用方法に関する技術上の疑問点に対する回答。
 - ウ. 基本ソフトウェア製造者へ対する障害内容の取次ぎ支援
 - 1) ソフトウェアが原因と判断した場合は、設定変更、パッチ適用等の対応方法を提示する。なお、パッチ等の提供を受けるためのソフトウェア保守契約は同時に契約するものとする。
 - 2) 運用上必要な技術情報を得られる体制を構築する。

3) 月曜日から金曜日の 9 : 0 0 から 1 7 : 0 0、電話受付/障害対応体制がとれること。なお、行政機関の休日（「行政機関の休日に関する法律」（昭和 63 年法律第 91 号）第 1 条第 1 項に掲げる日をいう。）を除く日とする。

4) 保守は、システム稼働後、継続的に行うこと。

5) 総合機構職員からの仕様、利用方法、操作方法等の問合せについて対応すること。

※保守契約期間は、機器の導入から平成 26 年 3 月 31 日までとする。

（２）ハードウェア保守要件

ハードウェア保守については、スポットでの保守対応を別途想定している。

1 3 移行要件定義

（１）移行に係る要件

なし。

（２）教育に係る要件

なし。

1 4 運用要件定義

（１）システム操作・監視等要件

なし。

（２）データ管理要件

なし。

（３）運用施設・設備要件

独立行政法人医薬品医療機器総合機構が指定するデータセンター

1 5 作業の体制及び方法

（１）作業体制

受注者は、業務受託後、総合機構に対して作業体制（受注者側の体制図とそれぞれの役割の詳細）を報告し、承認を得て業務を進めること。

（２）開発方法

なし。

（３）導入

システムの導入作業は、以下の事項を遵守して行うこと。

- ① 受注者は「1 0 機器等の設置、動作試験、検証」に定める要件を満たすようテストを行った後、日時及び設置場所で、導入作業を行い、問題なく迎えらるようになすこと。

(4) 瑕疵担保責任

本業務の瑕疵担保責任の範囲・期間等の瑕疵への対応については、契約に基づき規定するものとする。

1.6 特記事項

(1) 基本事項

受注者は、次に掲げる事項を遵守すること。

- ① 本業務の遂行にあたり、業務の継続を第一に考え、善良な管理者の注意義務をもって誠実に行うこと。
- ② 本業務に従事する要員は、総合機構と円滑なコミュニケーションを行う能力と意思を有していること。
- ③ 本業務の履行場所を他の目的のために使用しないこと。
- ④ 本業務に従事する要員は、履行場所での所定の名札の着用等、従事に関する所定の規則に従うこと。
- ⑤ 要員の資質、規律保持、風紀及び衛生・健康に関すること等の人事管理並びに要員の責めに起因して発生した火災・盗難等不祥事が発生した場合の一切の責任を負うこと。
- ⑥ 受注者は、本業務の履行に際し、総合機構からの質問、検査及び資料の提示等の指示に応じること。また、修正及び改善要求があった場合には、別途協議の場を設けて対応すること。
- ⑦ 次回の本業務調達に向けた現状調査、総合機構が依頼する技術的支援に対する回答、助言を行うこと。
- ⑧ 本業務においては、業務終了後の運用等を、受注者によらずこれを行うことが可能となるよう詳細にドキュメント類の整備を行うこと。

(2) 各業者との役割分担等

システム設計・開発等を複数業者が連携（再委託を含めて）して実施する等の場合は、参画する各業者の役割分担等を明示すること。

(3) 入札制限

情報システムの調達の公平性を確保するために、以下に示す事業者は本調達に参加できない

- ① 総合機構 CIO 補佐が現に属する、又は過去 2 年間に属していた事業者等
- ② 設計・開発等の工程管理支援業者等
- ③ 各行程の調達仕様書の作成に直接関与した事業者等
- ④ ①～③の親会社及び子会社（「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和 38 年大蔵省令第 59 号）第 8 条に規定する親会社及び子会社をいう。以下同じ。）
- ⑤ ①～③と同一の親会社を持つ事業者
- ⑥ ①～③から委託を受ける等緊密な利害関係を有する事業者

(4) 応札条件

応札希望者は、以下の資格等を有していること。

- ① 品質管理体制について ISO9001 の認証を取得していること。
- ② プライバシーマーク付与認定を取得していること。
- ③ 現行システムの設計書等を参照する必要がある場合は、参照方法などについて総合機構の指示に従い、秘密保持誓約書を提出した上で、参照すること。作業場所は、総合機構内とする
- ④ 落札時には工数、概算スケジュールを含む見積り根拠資料の即時提出が可能であるよう準備しておくこと。

(5) 知的財産等

知的財産の帰属は、以下のとおり。

- ① 本件に係り作成・変更・更新されるドキュメント類及びプログラムの著作権（著作権法第 21 条から第 28 条に定めるすべての権利を含む。）は、受注者が本件のシステム開発の従前より権利を保有していた等の明確な理由によるもの以外、総合機構が所有する等現有資産を移行等して発生した権利を含めてすべて総合機構に帰属するものとする。
- ② 本件に係り発生した権利については、受注者は著作権者人格権（著作権法第 18 条から第 20 条までに規定する権利をいう。）を行使しないものとする。
- ③ 本件に係り発生した権利については、今後、二次的著作物が作成された場合等であっても、受注者は原著作物の著作権者としての権利を行使しないものとする。
- ④ 本件に係り作成・変更・修正されるドキュメント類及びプログラム等に第三者が権利を有する著作物が含まれる場合、受注者は当該著作物の使用に必要な費用負担や使用許諾契約に係る一切の手続きを行うこと。この場合は事前に総合機構に報告し、承認を得ること。
- ⑤ 本件に係り第三者との間に著作権に係る権利侵害の紛争が生じた場合には、当該紛争の原因が専ら総合機構の責めに帰す場合を除き、受注者の責任、負担において一切を処理すること。この場合、総合機構は係る紛争の事実を知ったときは、受注者に通知し、必要な範囲で訴訟上の防衛を受注者にゆだねる等の協力措置を講ずる。なお、受注者の著作又は一般に公開されている著作について、引用する場合は出典を明示するとともに、受注者の責任において著作者等の承認を得るものとし、総合機構に提出する際は、その旨併せて報告するものとする。

(6) 再委託

受注者は、受注業務の全部又は主要部分を第三者に再委託することはできない。受注業務の一部を再委託する場合は、事前に再委託する業務、再委託先等を総合機構に報告し、承認を受けること。受注者は、機密保持、知的財産権等に関して本仕様書が定める受注者の責務を再委託先業者も負うよう、必要な処置を実施し、総合機構に報告し、承認を受けること。

なお、第三者に再委託する場合は、その最終的な責任を受注者が負うこと。

(7) 機密保持

本業務を実施する上で必要とされる機密保持に係る条件は、以下のとおり。

- ① 受注者は、受注業務の実施の過程で総合機構が開示した情報(公知の情報を除く。以下同じ。)、他の受注者が提示した情報及び受注者が作成した情報を、本受注業務の目的以外に使用又は第三者に開示若しくは漏洩してはならないものとし、そのために必要な措置を講ずること。
- ② 受注者は、本受注業務を実施するにあたり、総合機構から入手した資料等については管理台帳等により適切に管理し、かつ、以下の事項に従うこと。
 - ・複製しないこと。
 - ・用務に必要ななくなり次第、速やかに総合機構に返却又は消去すること。
 - ・受注業務完了後、上記①に記載される情報を削除又は返却し、受注者において該当情報を保持しないことを誓約する旨の書類を総合機構に提出すること。
- ③ 応札希望者についても上記①及び②に準ずること。
- ④ 「独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 情報システム管理利用規程」の第 52 条に従うこと。
- ⑤ 「秘密保持等に関する誓約書」を別途提出し、これを遵守しなければならない。
- ⑥ 機密保持の期間は、当該情報が公知の情報になるまでの期間とする。

(8) 遵守事項

本業務を実施するにあたっての遵守事項は、以下のとおり。

- ① 受注者は、「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準(第4版)」(2009年2月3日、情報セキュリティ政策会議決定)に定めるほか、総合機構が定める情報セキュリティの規定を遵守すること。
- ② 受注業務の実施において、現行システムの設計書等を参照する必要がある場合は、参照方法などについて総合機構の指示に従い、秘密保持契約を締結するなどした上で、参照すること。
- ③ 総合機構へ提示する電子ファイルは事前にウイルスチェック等を行い、悪意のあるソフトウェア等が混入していないことを確認すること。
- ④ 民法、刑法、著作権法、不正アクセス禁止法、個人情報保護法等の関連法規を遵守することはもとより、下記の総合機構内規程を遵守すること。
 - ・独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 情報システム管理利用規程
 - ・独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 個人情報管理規程
- ⑤ 受注者は、本業務において取り扱う情報の漏洩、改ざん、滅失等が発生することを防止する観点から、情報の適正な保護・管理対策を実施するとともに、これらの実施状況について、総合機構が定期又は不定期の検査を行う場合においてこれに应じること。万一、情報の漏洩、改ざん、滅失等が発生した場合に実施すべき事項及び手順等を明確にするとともに、事前に総合機構に提出すること。また、そのような事態が発生した場合は、総合機構に報告するとともに、当該手順等に基づき可及的速やかに修復すること。

(9) 作業場所

受注業務の作業場所は、総合機構内、又は総合機構の承認する場所で作業すること。
総合機構内での作業においては、必要な規定の手続を実施し承認を得ること。

(10) 環境への配慮

環境への負荷を低減するため、以下に準拠すること。

- ① 本件に係る納入成果物については、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」（平成 15 年 7 月 16 日法律第 119 号）に基づいた製品を導入すること。
- ② 導入する機器等がある場合は、性能や機能の低下を招かない範囲で、消費電力節減、発熱対策、騒音対策等の環境配慮を行うこと。

(11) その他

総合機構全体管理組織（PMO）が担当課に対して指導、助言等を行った場合には、受注者もその方針に従うこと。

1.7 窓口連絡先

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
安全第一部 安全情報課 中濱 功一
電話： 03 (3506) 9003
Email : nakahama-koichi@pmda.go.jp

①インターネット接続用ルータ

項	品名	型名	数量	備考
1	Si-R260B	SIR260BV35	1	10 / 100BASE-TX (RJ-45コネクター) : 4 (独立) ATM25Mbps (1432.5、RJ-45コネクター) : 1 添付品: 電源ケーブル (2m)、平行2極接地用口出線付変換プラグ、CD-ROM (取扱説明書、基本ソフトウェア、Si-R効率化運用ツール)、ケーブルホルダー、コンソールケーブル、製品保証書、ご使用になる前に
2	電源ケーブル	PWCBL-A003	1	Si-R370 / 260B用ラック搭載対応3mコード
3	ラック搭載機構	SIR370RUB	1	Si-R370 / 260B / 240B / 220C用、1UIに横並びで2台実装可、RoHS対応

②ファイアウォール専用装置

項	品名	型名	数量	備考
1	IPCOM EX1300 SC	IX13SC20	1	・10/100/1000BASE-T: 4ポート ・IPルーティング: Static、RIPv1/v2、OSPFv2、BGPv4 ・ファイアウォール性能: 1.5Gbps ・最大同時セッション数: 200,000
2	ハードディスクオプション	IX101HD1	1	ログ保存用ハードディスク
3	ラックマウントキット	IX119RM1	1	ラック搭載用のレール

③メール中継サーバ

項	品名	型名	数量	備考
1	SecureSoft SpamHunter 500S	-	2	・10/100BASE-TX: 4ポート メール処理件数 (1日、推奨): 60,000 メール処理件数 (1日、最大): 100,000 メモリ: 1GB

④DMZ L2スイッチ

項	品名	型名	数量	備考
1	SR-X316T1	PXC0116A01	1	10/100/1000BASE-T (16 ポート) AC100V / 平行2極接地極付プラグ (125V7A) 電源ケーブル抜け防止金具、ラック取り付け金具 AC100V用電源ケーブル (3m) VLANサポート
2	ラック後面引き出しオプション	PXC00RK1	1	本体を19インチラック取り付け時、後面から引き出し作業可能

⑤DNSサーバ

項	品名	型名	数量	備考
1	PRIMERGY RX300 S6 (3.5インチモデル) (Linuxサポートバンドルタイプ/アレイ-160GB × 1 (RAID0)) Xeon (R) E5503 (2GHz)	PGR3062EL	1	CPU: インテル (R) Xeon (R) プロセッサ E5503 (2GHz / 2コア / 4MB 3次キャッシュ内蔵) × 1 (最大2) メモリ: 2GB (2GB DDR3 1333 UDIMM × 1、PC3-10600) 内蔵HDD: 3.5インチSATA HDD 160GB × 1 (RAID0) 搭載 SASアレイコントローラカード: (8port / SAS2.0) 搭載、RAID0, 1, 1E, 1+0 構成が可能 OS: Red Hat Enterprise Linux 5.4 添付 占有ユニット数: 2U
2	(カ) 基本CPU変換機構 (Xeon (R) E5503 (2GHz) → Xeon (R) E5507 (2.26GHz))	PGBFU71C	1	標準搭載CPU交換用 (Xeon (R) E5503 (2GHz) → Xeon (R) E5507 (2.26GHz)) CPU: インテル (R) Xeon (R) プロセッサ E5507 (2.26GHz / 4コア / 4MB 3次キャッシュ内蔵) × 1 個
3	(カ) 拡張RAMモジュール-2GB	PGBRM2DJ	1	メモリ追加: 2GB ※標準搭載2GBと合わせて合計4GB
4	(カ) 基本ハードディスクユニット変換機構-146GB	PGBHUB45C3	1	標準搭載ハードディスク交換用 [160GB / 3.5インチSATA / 7.2krpm → 146.8GB / 3.5インチSAS / 15krpm] 内蔵型146.8GBハードディスクユニット (ホットプラグ対応)、3.5インチ、SAS、15krpm
5	(カ) 内蔵ハードディスクユニット-146GB (3.5インチ、SAS、15krpm)	PGBHDB45C3	1	RAID1構成用追加ディスク 内蔵型146.8GBハードディスクユニット (ホットプラグ対応)、3.5インチ、SAS、15krpm
6	(カ) RAID設定サービス (RAID1)	PGBARR1S	1	工場出荷時にRAID1構成を構築するサービス
7	(カ) 内蔵DAT72ユニット (ドライブケージ付)	PGBDT504D2	1	システムバックアップ採取用内蔵DAT 内蔵型DATユニット (DAT72)、USB接続、最大36GB (圧縮時は約2倍)
8	(カ) 内蔵電源ユニット	PGBPU135	1	[電源ユニット × 1 を追加] 電源の冗長運転を実現するオプション、ホットプラグ対応、電源容量: 800W
9	ラック用T-handle	PG-R1TH1	1	ラックマウントサーバ前面に取り付けるT型の持ち手
10	トレンドマイクロ ServerProtect FOR Linux パッケージ商品	E515CS4E	1	ウイルス対策ソフト
11	Systemwalker Centric Manager Standard Edition メディアパック (13.4) Linux版	B5164XDB1	1	メディアパック
12	Systemwalker Centric Manager Standard Edition プロセッサライセンス (エージェント用) v13	B515BTD81	2	運用監視ソフト、プロセッサライセンス (エージェント用) エージェント (被管理サーバ) を使用する場合は、サーバに搭載されているCPU数 (マルチコアプロセッサ搭載サーバの場合はコア数) に応じてプロセッサライセンス (エージェント用) が必要 (コア数 × Intel版係数0.5 = 必要ライセンス数)
13	NetVault Backup 8 Standard パッケージ	B5154M9H0	1	バックアップソフト

⑥内部セグメント L2スイッチ

項	品名	型名	数量	備考
1	Catalyst 2960S-48TS-S	LCS296G4S1	1	10BaseT/100BaseTX/1000BaseT (RJ-45) × 48 AC電源：電源ケーブル (IEC 60320 C13 ⇄ NEMA 5-15P) × 1 ※コンソールケーブル付属せず。別途手配必要。
2	コンソールケーブルRJ-45	LCC-CSRJ	1	コンソールケーブル RJ-45 オス ⇄ DB-9 メス 約1.8メートル (6フィート)

⑦内部セグメントルータ

項	品名	型名	数量	備考
1	Si-R260B	SIR260BV35	2	10 / 100BASE-TX (RJ-45コネクター) : 4 (独立) ATM25Mbps (1432.5、RJ-45コネクター) : 1 添付品：電源ケーブル (2m)、平行2極接地用口出線付変換プラグ、CD-ROM (取扱説明書、基本ソフトウェア、Si-R効率化運用ツール)、ケーブルホルダー、コンソールケーブル、製品保証書、ご使用になる前に
2	電源ケーブル	PWCBL-A003	2	Si-R370 / 260B用ラック搭載対応3mコード
3	ラック搭載機構	SIR370RUB	2	Si-R370 / 260B / 240B / 220C用、1UIに横並びで2台実装可、RoHS対応

⑧メール/EDIサーバ

項	品名	型名	数量	備考
1	PRIMERGY RX300 S6(3.5インチモデル)(Linuxサポートバンドルタイプ/アレイ-160GB × 1(RAID0))Xeon(R) E5503 (2GHz)	PGR3062EL	2	CPU: インテル(R) Xeon(R) プロセッサ E5503 (2GHz/2コア/4MB 3次キャッシュ内蔵) × 1(最大2) メモリ: 2GB(2GB DDR3 1333 UDIMM × 1、PC3-10600) 内蔵HDD: 3.5インチSATA HDD 160GB × 1(RAID0)搭載 SASアレイコントローラカード: (8port/SAS2.0)搭載、RAID0,1,1E,1+0構成が可能 OS: Red Hat Enterprise Linux 5.4添付 占有ユニット数: 2U
2	(カ)基本CPU変換機構 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R) E5640 (2.66GHz))	PGBFU71F	2	標準搭載CPU交換用 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R) E5640 (2.66GHz)) CPU:インテル(R) Xeon(R) プロセッサ E5640 (2.66GHz/4コア/12MB 3次キャッシュ内蔵) × 1個
3	(カ)拡張RAMモジュール-2GB	PGBRM2DJ	2	メモリ追加: 2GB ※標準搭載2GBと合わせて合計4GB
4	(カ)基本ハードディスクユニット変換機構-146GB	PGBHUB45C3	2	標準搭載ハードディスク交換用 [160GB/3.5インチSATA/7.2krpm → 146.8GB/3.5インチSAS/15krpm] 内蔵型146.8GBハードディスクユニット(ホットプラグ対応)、3.5インチ、SAS、15krpm
5	(カ)内蔵ハードディスクユニット-146GB(3.5インチ、SAS、15krpm)	PGBHDB45C3	2	RAID1構成用追加ディスク 内蔵型146.8GBハードディスクユニット(ホットプラグ対応)、3.5インチ、SAS、15krpm
6	(カ)RAID設定サービス(RAID1)	PGBARR1S	2	工場出荷時にRAID1構成を構築するサービス
7	(カ)内蔵電源ユニット	PGBPU135	2	[電源ユニット×1を追加] 電源の冗長運転を実現するオプション、ホットプラグ対応、電源容量: 800W
8	(カ)ファイバーチャネルカード(8Gbps)(LowProfile)	PGBFC203L	4	ファイバーチャネルカード、8Gbps、LowProfile、PCI Expressバス、Fabric/FC-AL(Arbitrated Loop)対応、デバイスドライバ添付 ※本カードを複数枚搭載した場合は、同一システム上でFabric接続とFC-AL(Arbitrated Loop)接続は混在できません。 ETERNUS装置接続用
9	ラック用T-handle	PG-R1TH1	2	ラックマウントサーバ前面に取り付けるT型の持ち手
10	トレンドマイクロ ServerProtect FOR Linux パッケージ商品	E515CS4E	2	ウイルス対策ソフト
11	Systemwalker Centric Manager Standard Edition プロセッサライセンス(エージェント用)v13	B515BTD81	4	運用監視ソフト、プロセッサライセンス(エージェント用) エージェント(被管理サーバ)を使用する場合は、サーバに搭載されているCPU数(マルチコアプロセッサ搭載サーバの場合はコア数)に応じてプロセッサライセンス(エージェント用)が必要 (コア数 × Intel版係数0.5 = 必要ライセンス数)
12	Systemwalker for Oracle Standard Edition メディアパック (64bit) Linux版	B51662DB0	1	データベースの稼働状態の監視に始まり、発生した異常事象の調査に至るまで一貫して集中管理を実現する商品です。Standard Editionに加え、高信頼(クラス対称)システムに対応します。インストールメディアです。
13	Systemwalker for Oracle Standard Edition プロセッサライセンス(エージェント用)v13	B515JDD81	4	複数の Oracle データベース・システムを1台の管理サーバから一元的に運用管理する機能を提供します。
14	ETERNUS マルチバスドライバ for Entry Model V2 (Linux 32bit/64bit版)	B0214E2H0	2	ETERNUS マルチバスドライバは、ETERNUS ディスクアレイとサーバ間を複数バス(マルチバス)で接続し、高信頼/高性能を実現するためのソフトウェアです。
15	CA ARCserve Backup r15 Client Agent for Linux - Japanese	B5157NFH1	2	CA ARCserve Backup r12.5 for Windows - Japaneseが導入されたWindowsサーバから、本商品がインストールされたLinuxサーバのリモートバックアップ/リストアを行うことができます。
16	Oracle Database 11g Release 2 (11.2.0) JP Media Pack for Linux x86	B515ZACB0	1	-
17	Oracle Standard Edition One 1 Processor License	B515HCE81	2	-
18	Axway: Synchrony Gateway Interchange	-	-	メッセージゲートウェイソフト

⑨AP/File/交換サーバ

項	品名	型名	数量	備考
1	PRIMERGY RX300 S6(3.5インチモデル)(Windows Server 2008 R2 Standard バンドルタイプ/アレイ-160GB × 1(RAID0))Xeon(R) E5503 (2GHz)	PGR3062E6	2	CPU: インテル(R) Xeon(R) プロセッサ E5503 (2GHz/2コア/4MB 3次キャッシュ内蔵) × 1(最大2) メモリ: 2GB(2GB DDR3 1333 UDIMM × 1, PC3-10600) 内蔵HDD: 3.5インチSATA HDD 160GB × 1(RAID0)搭載 SASアレイコントローラカード: (8port/SAS2.0)搭載、RAID0,1,1E,1+0構成が可能 OS: Windows Server 2008 R2 Standard バンドル(5CAL付) 占有ユニット数: 2U
2	(カ)基本CPU変換機構 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R) X5680 (3.33GHz))	PGBFU71K	2	標準搭載CPU交換用 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R) X5680 (3.33GHz)) CPU:インテル(R) Xeon(R) プロセッサ X5680 (3.33GHz/6コア/12MB 3次キャッシュ内蔵) × 1個
3	(カ)拡張RAMモジュール-2GB	PGBRM2DJ	2	メモリ追加: 2GB ※標準搭載2GBと合わせて合計4GB
4	(カ)基本ハードディスクユニット変換機構-146GB	PGBHUB45C3	2	標準搭載ハードディスク交換用 [160GB/3.5インチSATA/7.2krpm → 146.8GB/3.5インチSAS/15krpm] 内蔵型146.8GBハードディスクユニット(ホットプラグ対応), 3.5インチ, SAS , 15krpm
5	(カ)内蔵ハードディスクユニット-146GB(3.5インチ, SAS, 15krpm)	PGBHDB45C3	2	RAID1構成用追加ディスク 内蔵型146.8GBハードディスクユニット(ホットプラグ対応), 3.5インチ, SAS , 15krpm
6	(カ)RAID設定サービス(RAID1)	PGBARR1S	2	工場出荷時にRAID1構成を構築するサービス
7	(カ)内蔵電源ユニット	PGBPU135	2	[電源ユニット × 1を追加] 電源の冗長運転を実現するオプション, ホットプラグ対応, 電源容量: 800W
8	(カ)ファイバーチャネルカード(8Gbps)(LowProfile)	PGBFC203L	4	ファイバーチャネルカード, 8Gbps, LowProfile, PCI Expressバス, Fabric/FC-AL(Arbitrated Loop)対応, デバイスドライバ添付 ※本カードを複数枚搭載した場合は、同一システム上でFabric接続とFC-AL(Arbitrated Loop)接続は混在できません。 ETERNUS装置接続用
9	ラック用T-handle	PG-R1TH1	2	ラックマウントサーバ前面に取り付けるT型の持ち手
10	高性能無停電電源装置(Smart-UPS 1500RMJ-2U)	GP5-R1UP8	2	・定格電圧: 100V ・定格容量: 1500VA/980W ・コンセント: 6 ・ラックマウント型 (占有ユニット数: 2U)
11	Server Protection for Windows	B5140ZK5C	2	ウイルス対策ソフト
12	Systemwalker Centric Manager Standard Edition メディアパック(13.4) Windows版	B5140FQFC	1	-
13	Systemwalker Centric Manager Standard Edition メディアパック (64bit) (13.4) Windows版	B5141JUFC	1	-
14	Systemwalker Centric Manager Standard Edition プロセッサライセンス(エージェント用)v13	B5140FWDB	6	運用監視ソフト、プロセッサライセンス(エージェント用) エージェント(被管理サーバ)を使用する場合は、サーバに搭載されているCPU数(マルチコアプロセッサ搭載サーバの場合はコア数)に応じてプロセッサライセンス(エージェント用)が必要 (コア数 × Intel版係数0.5＝必要ライセンス数)
15	ETERNUS マルチバスドライバ for Entry Model V2 (Windows 32bit/64bit版)	B0253K2H0	2	ETERNUS マルチバスドライバは、ETERNUS ディスクアレイとサーバ間を複数バス(マルチバス)で接続し、高信頼/高性能を実現するためのソフトウェアです。
16	CA ARCserve Backup r15 Client Agent for Windows - Japanese	B5140JB4C	2	CA ARCserve Backup r15 for Windows - Japaneseが導入されたWindowsサーバから、本商品がインストールされたWindowsサーバのリモートバックアップ/リストアを行うことができます。
17	CA ARCserve Backup r15 for Windows Agent for Open Files - Japanese	B5140JJ4C	2	アプリケーションやユーザが使用中のファイルのバックアップが可能になります。
18	PowerChute Business Edition Basic v8.0.1	B5140R53C	2	本商品は、コンピュータ本体装置に接続されたUPS(無停電電源装置: Smart-UPS)と組み合わせて使用する電源管理ソフトウェアです。UPSの状態監視やスケジュール運転などの機能があります。
19	Access2003 メディア	E288CB6CK	1	-
20	Access 2010 GovernmentOpenLicense(官公庁向け)／ MOLA(医療機関向け)	E5145148GD	2	アプリケーション製品群 Dランク

⑩DB/PDFサーバー

項	品名	型名	数量	備考
1	PRIMERGY RX300 S6(3.5インチモデル)(ディスクレスタイプ)Xeon(R) E5503 (2GHz)	PGR3062BA	2	CPU: インテル(R) Xeon(R) プロセッサ E5503 (2GHz/2コア/4MB 3次キャッシュ内蔵) × 1(最大2) メモリ: 2GB(2GB DDR3 1333 UDIMM × 1, PC3-10600) 内蔵HDD: 標準なし SASアレイコントローラカード: (8port/SAS2.0)搭載、RAID0,1,1E,1+0構成が可能 OS: 標準なし 占有ユニット数: 2U
2	(カ)基本CPU交換機構 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R) X5680 (3.33GHz))	PGBFU71K	2	標準搭載CPU交換用 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R) X5680 (3.33GHz)) CPU:インテル(R) Xeon(R) プロセッサ X5680 (3.33GHz/6コア/12MB 3次キャッシュ内蔵) × 1個
3	(カ)Xeon プロセッサ X5680 (3.33GHz/6コア/12MB)	PGBFG71K	2	CPU追加: ※合計: 2CPU (12コア)
4	(カ)基本RAMモジュール交換機構-4GB(4GB 1333 RDIMM × 1) 【標準搭載メモリ→4GB 1333 RDIMM × 1(Dual Rank)】	PGBRU4EP	2	標準搭載メモリ交換用(2GB→4GB) 4GB DDR3 1333 RDIMM(Dual Rank) × 1枚
5	(カ)拡張RAMモジュール-4GB(4GB 1333 RDIMM × 1)(Dual Rank)	PGBRM4EP	6	メモリ追加: 4GB × 3枚 ※標準搭載4GBと合わせて合計16GB
6	(カ)内蔵ハードディスクユニット-146GB(3.5インチ, SAS, 15krpm)	PGBHDB45C3	4	内蔵型 146.8GBハードディスクユニット(ホットプラグ対応), 3.5インチ, SAS , 15krpm
7	(カ)RAID設定サービス(RAID1)	PGBARR1S	2	工場出荷時にRAID1構成を構築するサービス
8	(カ)内蔵電源ユニット	PGBPU135	2	[電源ユニット × 1を追加] 電源の冗長運転を実現するオプション, ホットプラグ対応, 電源容量: 800W
9	(カ)LANカード(DualPort)(1000BASE-T)	PGB2861L	2	Dual Port LANインターフェースカード, 1000BASE-T × 2, LowProfile PCI Express/バス, AFT/ALBサポート
10	(カ)ファイバーチャネルカード(8Gbps)	PGBFC203L	4	ファイバーチャネルカード, 8Gbps, LowProfile, PCI Express/バス, Fabric/FC-AL(Arbitrated Loop)対応, デバイスドライバ添付 ※本カードを複数枚搭載した場合は、同一システム上でFabric接続とFC-AL(Arbitrated Loop)接続は混在できません。 ETERNUS装置接続用
11	ラック用T-handle	PG-R1TH1	2	ラックマウントサーバ前面に取り付けるT型の持ち手
12	高機能無停電電源装置(Smart-UPS 1500RMJ-2U)	GP5-R1UP8	2	・定格電圧: 100V ・定格容量: 1500VA/980W ・コンセント: 6 ・ラックマウント型 (占有ユニット数: 2U) ・ラックマウント用レール標準添付
13	(カ)Windows Server 2008 R2 Enterprise バンドル	PGBSUWE1	2	価格はオープン 項目15にて保守
14	Server Protection for Windows	B5140ZK5C	2	ウイルス対策ソフト
15	Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス(エージェント用)v13	B5140G7DB	12	運用監視ソフト、プロセスライセンス(エージェント用) エージェント(被管理サーバ)を使用する場合は、サーバに搭載されているCPU数(マルチコアプロセッサ搭載サーバの場合はコア数)に応じてプロセスライセンス(エージェント用)が必要 (コア数 × Intel版係数0.5＝必要ライセンス数)
16	Systemwalker for Oracle Enterprise Edition プロセッサライセンス(エージェント用)v13	B514088DB	12	Oracleデータベースの稼働状態やトラブルの監視など、導入から運用管理までのライフサイクルを支援し、安定稼働を実現します。
17	ETERNUS マルチバスドライバ for Entry Model V2 (Windows 32bit/64bit版)	B0253K2H0	2	ETERNUS マルチバスドライバは、ETERNUS ディスクアレイとサーバ間を複数バス(マルチバス)で接続し、高信頼/高性能を実現するためのソフトウェアです。
18	PowerChute Business Edition Basic v8.0.1	B5140R53C	2	本商品は、コンピュータ本体装置に接続されたUPS(無停電電源装置: Smart-UPS)と組み合わせて使用する電源管理ソフトウェアです。UPSの状態監視やスケジュール運転などの機能があります。
19	CA ARCserve Backup r15 Client Agent for Windows - Japanese	B5140JB4C	2	CA ARCserve Backup r15 for Windows - Japaneseが導入されたWindowsサーバから、本商品がインストールされたWindowsサーバのリモートバックアップ/リストアを行うことができます。
20	CA ARCserve Backup r15 for Windows Agent for Open Files - Japanese	B5140JJ4C	2	アプリケーションやユーザが使用中のファイルのバックアップが可能になります。
21	CA ARCserve Backup r15 for Windows Agent for Oracle - Japanese	B5140JC4C	2	Oracleデータベースのオンラインバックアップが可能になります。
22	Oracle Database 11g Release 2 (11.2.0) JP Media Pack for Microsoft Windows x64 (64-bit)	B5141MP2C	1	
23	Oracle Database 11g Release 2 (11.2.0) JP Media Pack for Microsoft Windows (32-bit)	B51417L2C	1	
24	Oracle Standard Edition One 1 Processor License	B51417P3S	4	

⑪検証/開発サーバ

項	品名	型名	数量	備考
1	PRIMERGY RX300 S6(3.5インチモデル)(VMware vSphere 4 バンドルタイプ)Xeon(R) E5503 (2GHz)	PGR3062BX2	1	CPU: インテル(R) Xeon(R) プロセッサ E5503 (2GHz/2コア/4MB 3次キャッシュ内蔵) × 1(最大2) メモリ: 2GB(2GB DDR3 1333 UDIMM × 1, PC3-10600) , 内蔵HDD: なし(オプション) SASアレイコントローラカード: (8port/SAS2.0)搭載、RAID0,1,1E,1+0構成が可能 DVD-ROM: DVD-ROM内蔵 LAN: オンボードLAN(1000BASE-T × 2) OS: VMware vSphere(TM) 4 Standard (1CPUライセンス付き) 占有ユニット数: 2U
2	(カ)基本CPU交換機構 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R)	PGBFU71K	1	標準搭載CPU交換用 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R) X5680 (3.33GHz)) CPU:インテル(R) Xeon(R) プロセッサ X5680 (3.33GHz/6コア/12MB 3次キャッシュ内蔵) × 1個
3	(カ)Xeon プロセッサ X5680 (3.33GHz/6コア/12MB)	PGBFG71K	1	CPU追加: ※合計:2CPU(12コア)
4	(カ)基本RAMモジュール交換機構-4GB	PGBRU4EP	1	標準搭載メモリ交換用(2GB→4GB) 4GB DDR3 1333 RDIMM(Dual Rank) × 1枚
5	(カ)拡張RAMモジュール-4GB	PGBRM4EP	3	メモリ追加:4GB × 3枚 ※標準搭載4GBと合わせて合計16GB
6	(カ)内蔵ハードディスクユニット-146GB(3.5インチ, SAS, 15k	PGBHDB45C3	2	内蔵型 146.8GBハードディスクユニット(ホットプラグ対応), 3.5インチ, SAS , 15krpm
7	(カ)RAID設定サービス(RAID1)	PGBARR1S	1	工場出荷時にRAID1構成を構築するサービス
8	(カ)内蔵電源ユニット	PGBPU135	1	[電源ユニット × 1を追加] 電源の冗長運転を実現するオプション, ホットプラグ対応, 電源容量: 800W
9	(カ)LANカード(LowProfile)(DualPort)(1000BASE-T)	PGB2861L	1	1000BaseTのポートを2ポート追加
10	(カ)ファイバーチャネルカード(8Gbps)(LowProfile)	PGBFC203L	2	ファイバーチャネルカード, 8Gbps, LowProfile, PCI Express/バス, Fabric/FC-AL(Arbitrated Loop)対応, デバイスドライバ添付 ※本カードを複数枚搭載した場合は、同一システム上でFabric接続とFC-AL(Arbitrated Loop)接続は混在できません。 ETERNUS装置接続用
11	ラック用T-handle	PG-R1TH1	1	ラックマウントサーバ前面に取り付けるT型の持ち手
12	(カ)基本VMware OS交換機構[VMware vSphere(TM) 4 Standard (1CPUライセンス付き) → VMware vSphere(TM) 4 Standard (2CPUライセンス付き)]	PGBSUVM12	1	VMware vSphere 4 バンドルタイプ基本OS交換サービス VMware vSphere(TM) 4 Standard (1CPUライセンス付き) →VMware vSphere(TM) 4 Standard (2CPUライセンス付き) バンドルへ交換
13	トレンドマイクロ ServerProtect FOR Linux パッケージ商品	E515CS4E	1	ウイルス対策ソフト
14	Systemwalker Centric Manager Standard Edition プロセッサライセンス(エージェント用)v13	B515BTD81	1	運用監視ソフト、プロセッサライセンス(エージェント用) エージェント(被管理サーバ)を使用する場合は、サーバに搭載されているCPU数(マルチコアプロセッサ搭載サーバの場合はコア数)に応じてプロセッサライセンス(エージェント用)が必要 (コア数 × Intel版係数0.5＝必要ライセンス数)
15	Systemwalker for Oracle Standard Edition プロセッサライセンス(エージェント用)v13	B515JDD81	1	Oracleデータベースの稼働状態やトラブルの監視など、導入から運用管理までのライフサイクルを支援し、安定稼働を実現します。
16	CA ARCserve Backup r15 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle - Japanese	B5141EY4C	1	VMware環境やWindows Server 2008 Hyper-V環境といった仮想化環境のバックアップが可能となります。 ゲストOS専用として以下の製品と同等のライセンスが同梱されています。 (1) Windowsマシンのリモートバックアップ ・CA ARCserve Backup r12.5 Client Agent for Windows - Japanese (Agent for Virtual Machinesと同時にインストール) ・CA ARCserve Backup r12.5 for Windows Agent for Open Files - Japanese (2) Linuxマシンのリモートバックアップ ・CA ARCserve Backup r12.5 Client Agent for Linux - Japanese
17	Oracle Standard Edition One 1 Processor License	B515HCE81	2	

ゲストOS(Windows) ソフト明細/APサーバ				
18	Windows Server 2003 R2 SP2テキヨウ Standard (32bit/CD) メディア	E514C0ALK	1	
19	Windows Server 2008 R2 Standard (x64/DVD) メディア	E514C0J0K	1	
20	Windows Server 2008 R2 Standard GovernmentOpenLicense(官公庁向け)／MOLA(医療機関	E5145104GC	1	
21	Server Protection for Windows	B5140ZK5C	1	ウイルス対策ソフト
22	Systemwalker Centric Manager Standard Edition プロセッサライセンス(エージェント用)v13	B5140FWDB	1	運用監視ソフト、プロセッサライセンス(エージェント用) エージェント(被管理サーバ)を使用する場合は、サーバに搭載されているCPU数(マルチコアプロセッサ搭載サーバの場合はコア数)に応じてプロセッサライセンス(エージェント用)が必要 (コア数×Intel版係数0.5＝必要ライセンス数)
23	CA ARCserve Backup r15 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle - Japanese	B5141EY4C	1	VMware環境やWindows Server 2008 Hyper-V環境といった仮想化環境のバックアップが可能となります。 ゲストOS専用として以下の製品と同等のライセンスが同梱されています。 (1) Windowsマシンのリモートバックアップ ・CA ARCserve Backup r12.5 Client Agent for Windows - Japanese (Agent for Virtual Machinesと同時にインストール) ・CA ARCserve Backup r12.5 for Windows Agent for Open Files - Japanese (2) Linuxマシンのリモートバックアップ ・CA ARCserve Backup r12.5 Client Agent for Linux - Japanese
23	Access 2010 GovernmentOpenLicense(官公庁向け)／MOLA(医療機関向け)	E5145148GD	1	AP/File Serverでメディアは購入済み。
ゲストOS(Windows) ソフト明細/DB・PDFサーバ				
24	Windows Server 2003 R2 SP2テキヨウ Enterprise (x64/DVD) メディア	E514C0AJK	1	
25	Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64/DVD) メディア	E514C0J2K	1	
26	Windows Server 2008 R2 Enterprise GovernmentOpenLicense(官公庁向け)／MOLA(医療機関	E5145103GC	1	サーバ製品群Cランク
27	Server Protection for Windows	B5140ZK5C	1	ウイルス対策ソフト
28	Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス(エージェント用)v13	B5140G7DB	4	運用監視ソフト、プロセッサライセンス(エージェント用) エージェント(被管理サーバ)を使用する場合は、サーバに搭載されているCPU数(マルチコアプロセッサ搭載サーバの場合はコア数)に応じてプロセッサライセンス(エージェント用)が必要 (コア数×Intel版係数0.5＝必要ライセンス数)
29	CA ARCserve Backup r15 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle - Japanese	B5141EY4C	1	VMware環境やWindows Server 2008 Hyper-V環境といった仮想化環境のバックアップが可能となります。 ゲストOS専用として以下の製品と同等のライセンスが同梱されています。 (1) Windowsマシンのリモートバックアップ ・CA ARCserve Backup r12.5 Client Agent for Windows - Japanese (Agent for Virtual Machinesと同時にインストール) ・CA ARCserve Backup r12.5 for Windows Agent for Open Files - Japanese (2) Linuxマシンのリモートバックアップ ・CA ARCserve Backup r12.5 Client Agent for Linux - Japanese
30	CA ARCserve Backup r15 for Windows Agent for Oracle - Japanese	B5140JC4C	1	Oracleデータベースのオンラインバックアップが可能になります。

⑫運用管理サーバ

項	品名	型名	数量	備考
1	PRIMERGY RX300 S6(3.5インチモデル)(ディスクレスタイプ)Xeon(R) E5503 (2GHz)	PGR3062BA	1	CPU: インテル(R) Xeon(R) プロセッサー E5503 (2GHz/2コア/4MB 3次キャッシュ内蔵) × 1(最大2) メモリ: 2GB(2GB DDR3 1333 UDIMM × 1, PC3-10600) 内蔵HDD: 3.5インチSATA HDD 160GB × 1(RAID0)搭載 SASアレイコントローラカード: (8port/SAS2.0)搭載、RAID0,1,1E,1+0構成が可能 OS: なし(オプション) 占有ユニット数: 2U
2	(カ)基本CPU変換機構 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R) X5650 (2.66GHz))	PGBFU71G	1	標準搭載CPU交換用 (Xeon(R) E5503 (2GHz) →Xeon(R) X5650 (2.66GHz)) CPU:インテル(R) Xeon(R) プロセッサー X5650 (2.66GHz/6コア/12MB 3次キャッシュ内蔵) × 1個
3	(カ)拡張RAMモジュール-2GB	PGBRM2DJ	3	メモリ追加: 2GB × 3 ※標準搭載2GBと合わせて合計8GB
4	(カ)内蔵ハードディスクユニット-146GB(3.5インチ, SAS, 15krpm)	PGBHDB45C3	2	内蔵型146.8GBハードディスクユニット(ホットプラグ対応), 3.5インチ, SAS , 15krpm
5	(カ)RAID設定サービス(RAID1)	PGBARR1S	1	工場出荷時にRAID1構成を構築するサービス
6	(カ)内蔵電源ユニット	PGBPU135	1	[電源ユニット×1を追加] 電源の冗長運転を実現するオプション, ホットプラグ対応, 電源容量: 800W
7	(カ)ファイバーチャネルカード(8Gbps)(LowProfile)	PGBFC203L	2	ファイバーチャネルカード, 8Gbps, LowProfile, PCI Express/バス, Fabric/FC-AL(Arbitrated Loop)対応, デバイスドライバ添付 ※本カードを複数枚搭載した場合は、同一システム上でFabric接続とFC-AL(Arbitrated Loop)接続は混在できません。 ETERNUS装置接続用
8	ラック用T-handle	PG-R1TH1	1	ラックマウントサーバ前面に取り付けるT型の持ち手
9	高性能無停電電源装置(Smart-UPS 1500RMJ-2U)	GP5-R1UP8	1	・定格電圧: 100V ・定格容量: 1500VA/980W ・コンセント: 6 ・ラックマウント型 (占有ユニット数: 2U)
10	(カ)Windows Server 2008 R2 Enterprise バンドル	PGBSUWE1	1	-
11	Server Protection for Windows	B5140ZK5C	1	ウイルス対策ソフト
12	Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition メディアパック(13.4) Windows版	B5141LPFC	1	-
13	Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition プロセッサライセンス(マネージャ用)v13	B5140G1DB	3	運用監視ソフト、プロセッサライセンス(マネージャ用) サーバに搭載されているCPU数(マルチコアプロセッサ搭載サーバの場合はコア数)に応じてプロセッサライセンス(エージェント用)が必要 (コア数 × Intel版係数0.5 = 必要ライセンス数)
14	Systemwalker for Oracle Enterprise Edition メディアパック (64bit) Windows版	B5141MJDC	1	データベースの稼働状態の監視に始まり、発生した異常事象の調査に至るまで一貫して集中管理を実現する商品です。Standard Editionに加え、高信頼(クラス対称)システムに対応します。
15	Systemwalker for Oracle Enterprise Edition プロセッサライセンス(マネージャ用)v13	B514085DB	3	-
16	ETERNUS マルチパスドライバ for Entry Model V2 (Windows 32bit/64bit版)	B0253K2H0	1	ETERNUS マルチパスドライバは、ETERNUS ディスクアレイとサーバ間を複数パス(マルチパス)で接続し、高信頼/高性能を実現するためのソフトウェアです。
17	CA ARCserve Backup r15 for Windows – Japanese	B5140JA4C	1	本商品は、同一ネットワーク上のWindowsサーバおよび、クライアントのデータをバックアップ、リストアするソフトウェアです。また、Linuxマシンのリモートバックアップも可能です。
17	CA ARCserve Backup r15 for Windows Agent for Open Files – Japanese	B5140JJ4C	1	アプリケーションやユーザが使用中のファイルのバックアップが可能になります。
18	CA ARCserve Backup r15 for Windows Disaster Recovery Option – Japanese	B5140JL4C	1	Windowsサーバでの災害発生時に、即時にサーバを復旧することができます。
19	CA ARCserve Backup r15 for Windows Agent for Microsoft SQL – Japanese	B5140JD4C	1	Microsoft SQLデータベースのオンラインバックアップが可能になります。
20	CA ARCserve Backup r15 for Windows Tape Library Option – Japanese	B5140JP4C	1	複数ドライブを搭載したテープライブラリ装置(2ドライブ以上)を使用したバックアップ運用が可能となります。
21	PowerChute Business Edition Basic v8.0.1	B5140R53C	1	本商品は、コンピュータ本体装置に接続されたUPS(無停電電源装置: Smart-UPS)と組み合わせて使用する電源管理ソフトウェアです。UPSの状態監視やスケジュール運転などの機能があります。
22	Office2003 Professional Ent メディア	E288CB6CK	1	-
23	Office 2010 Professional Plus GovernmentOpenLicense(官公庁向け)／MOLA(医療機関	E514514BGD	1	-
24	VMware vCenter Server 4 Foundation	B5161A481	1	-
25	SQL Server 2008 Standard メディア(DVD)	E514C0GGK	1	-
26	SQL Server 2008R2 Standard GovernmentOpenLicense (官公庁向け)／MOLA(医療機関向け)	E5145153GC	1	vCenter Server用DB。 サーバ製品群C
27	SQL Server 2008R2 DeviceCAL	E5145150GC	3	CALは、全仮想サーバ分必要。 また、Device CALには管理用端末のCAL(2ライセンス)が無償で付いています。 サーバ製品群C
28	ETERNUS SF Advanced Copy Manager メディアパック (Windows版)	B0253GEB0	1	
29	ETERNUS SF AdvancedCopy Manager Standard Edition 14 Tier1	D01810E81	1	
30	ETERNUS SF StorageCruiser メディアパック(Windows版)	B0253QEH0	1	64Bitでも動作するが、32Bitで動作
31	ETERNUS SF Storage Cruiser Standard Edition 14 Tier1	D01813E81	1	DX80のためTier1.

⑬運用管理コンソールPC

項	品名	型名	数量	備考
1	ESPRIMO D550/B 24時間対応モデル	FMVDF2A0EL	1	OS Windows 7 Professional CPU Celeron(R) 450 メモリ 1GB (1GB x1) HDD 80GB
2	CPU変更Celeron(R) 450→Core(TM)2 Duo E7500	FMCXCPDE8L	1	-
3	17型液晶(スタンダードモデル)	VL-179SEL	1	-
4	HDD変更80GB(SATA)→160GB(SATA)	FMCXD6D8L	1	-
5	DVD-ROMドライブユニット(厚型)追加	FMC-DVD82	1	-
6	リカバリデータディスク+ドライバーズディスク追加 (Windows7 Professional)	FMC-RDD82A	1	-

⑭SANストレージ及びSANスイッチ

項	品名	型名	数量	備考
1	ETERNUS DX80ベース装置(8Gbps、FC、2ポート)	ET08E21A	1	・ラックマウントタイプ(2U)、AC100V仕様 ・エンクロージャ×1 -コントローラー(8Gbit/s FC×1ポート)×2 -キャッシュメモリ(2GB)×2 -電源ユニット×2 ・AC100Vケーブル(プラグ形状:NEMA 5-15P、線長:3m)×2 ・FCケーブル(コネクター形状:LC-LC、線長:5m)×2 ・LANケーブル(カテゴリ5e)(線長:5m)×2 ・ラックマウントキット×1 ・ベース装置にはディスクドライブを最小2本搭載必須 ・3.5インチ用ドライブエンクロージャを最大9台増設可能 ・ベース装置1に標準で12本ディスクドライブを搭載可能。ドライブエンクロージャを増設することでディスクドライブを最大120本搭載可能 ・増設ホストインターフェースオプション×1追加搭載可能
2	増設ホストインターフェース(8Gbps、FC、2ポート、DX80用)	ETLH8F8	1	・SFP(8Gbit/s)モジュール×2 ・ファイバチャネルケーブル(サーバ接続用)(LC-LC 5m)×2 ・ライセンスラベル×1 ・ETERNUS DX80(8Gbit/s、FC、2ポート)用増設ホストインターフェース。
3	600GB/15krpmSASディスクドライブ×2(RAID1)	ETLSA6MA	7	-
4	600GB/15krpmSASディスクドライブ×4(RAID5)	ETLSA6PA	1	-
5	600GB/15krpmSASディスクドライブ×6(RAID5)	ETLSA6QA	1	-
6	600GB/15krpmSASディスクドライブ×1	ETLSA6HA	5	600GB×3本(RAID5)とホットスベア2本
7	ドライブエンクロージャ(3.5インチ用)	ETLDE2A	2	・ラックマウントタイプ(2U) ・ドライブエンクロージャ×1 - エキスパンダー(SAS 1ポート)×2 - 電源ユニット×2 ・AC100Vケーブル(プラグ形状:NEMA 5-15P、線長:3m)×2 ・miniSAS-miniSASケーブル(線長:0.75m)×2 ・ラックマウントキット×1 ・ドライブエンクロージャ1台にディスクドライブを最大12本搭載可能 ・最大9台増設可能
8	アドバンスト・コピー機構(ETERNUS DX80用)	ETLL8CP	1	・アドバンスト・コピー機能(OPC/EC機能)を使用する場合、ベース装置に1つ手配が必要
9	ACコンセントボックス(AC100V、1U)	ETLAC1U1	2	・ラックマウントタイプ(1U)、AC100V仕様 ・ACコンセントボックス(AC100V)×1 ・入力ACケーブル(プラグ形状:NEMA 5-15P、線長:3m)×2 ・出力ACケーブル(線長:3m)×4 ・ラックマウントキット×1 ・ベース装置とドライブエンクロージャを合計2台まで接続可能
10	ETERNUS SN200 モデル600 ファイバチャネルスイッチ 16ポート	SN2D60BB	2	・SFP+(8Gbit/s)×16個添付 ・100V電源ケーブル(3m、平行2P アース付)×1 ・LANクロスケーブル×1(保守用) ・RS232Cケーブル×1(保守用) ・AC100V仕様 ・標準16ポート使用可能 ・モデル600用8ポートアップグレードライセンスを適用し、8ポート単位で最大24ポートまで拡張可能 ・RoHS指令対応 ・1U
11	マルチモードファイバチャネルケーブル(2m)ETERNUS SN1600	CBL-MLLB02	1	・マルチモードファイバチャネルケーブル(2m) ・LCコネクター - LCコネクター
12	マルチモードファイバチャネルケーブル(5m)	CBL-MLLC20	22	・マルチモードファイバチャネルケーブル(20m) ・LCコネクター - LCコネクター メールEDIサーバ2台→4本 AP・Fire・交換サーバ2台→4本 DB/PDFファイルサーバ2台→4本 検証/開発サーバ1台→2本 運用管理サーバ1台→2本 テープ1台→2本 DX→4本(但し標準添付)カウントは0 これは5M 予備→4本 合計22本

⑮テープライブラリ

項	品名	型名	数量	備考
1	ETERNUS LT40(LTO4 ハーフハイト、FC)	LT40JFF1	1	最大収納カートリッジ数: 24巻 バックアップ容量: LTO4 カートリッジテープ 19.2TB ホストインターフェース: ファイバチャネル(最大4Gbit/s) 電源仕様: 100V ユニット数(U) 2
2	増設ドライブオプション(LTO4 ハーフハイト、FC、LT40用)	LT40JZ224	1	LTO4ドライブ追加 ホストインターフェース: ファイバチャネル(最大4Gbit/s)
3	LANケーブル(10m)	TPCBL-B010	1	-
4	LTO Ultrium4 データカートリッジ 800GB (1巻)	0160330	22	-
5	バーコードラベル ULB (ラミネート 20枚/セット)	0637190	2	-

⑯付帯機器

項	品名	型名	数量	備考
---	----	----	----	----

項	品名	型名	数量	備考
1	17インチ ラック・コンソール(RC25)	PG-R4DP1	3	ラックマウント格納型液晶ディスプレイ(1U)、USB、PS/2接続、17インチTFTカラーLCD、640x480、800x600、1024x768、1280x1024、表示色最大1677万色、リフレクトマウス/キーボード(日本語版)付 ※KVMスイッチ(4ポート) (PG-SB203)を1台搭載可能。
2	KVMスイッチ(4ポート)	PG-SB205	3	ディスプレイ/キーボード/マウス切替器。切替器1台につき、最大4台のサーバを接続可能。 <接続形式>ディスプレイ:アナログRGB、マウス:PS/2接続,USB接続, キーボード:PS/2接続,USB接続
3	ラック・コンソール格納キット	PG-R1CK30	3	17インチ ラック・コンソール(RC25) (PG-R4DP1)の後ろに 本装置を1台搭載できます。
4	KVMケーブル(USB)	PG-CBLDP16	9	KVMスイッチ(4/8ポート)[PG-SB203/204]-サーバ本体(USBインターフェース)間用ケーブル (KVMスイッチに接続するサーバ台数分必要) DNSサーバ1 メール/EDIサーバ2 AP/File交換サーバ2 DB/PDFサーバ2 検証サーバ1 運用管理サーバ1 合計9

⑪総合機構ルータ

項	品名	型名	数量	備考
1	Si-R260B	SIR260BV35	2	10 / 100BASE-TX (RJ-45コネクター):4 (独立) ATM25Mbps (1.432.5、RJ-45コネクター):1 添付品:電源ケーブル(2m)、平行2極接地用口出線付変換プラグ、CD-ROM(取扱説明書、基本ソフトウェア、Si-R効率化運用ツール)、ケーブルホルダー、コンソールケーブル、製品保証書、ご使用になる前に
2	電源ケーブル	PWCBL-A003	2	Si-R370 / 260B用ラック搭載対応3mコード
3	ラック搭載機構	SIR370RUB	1	Si-R370 / 260B / 240B / 220C用、1Uに横並びで2台実装可、RoHS対応

⑫副作用システムクライアントPC

項	品名	型名	数量	備考
1	ESPRIMO D750/A	FMVDE4T0E1	30	OS Windows 7 Professional (32-bit) CPU インテル(R) Core(TM) i3-550 プロセッサー(3.20GHz) メモリ 1GB (1GB x1) HDD 160GB/SATA/300
2	17型液晶(スタンダードモデル)	VL-179SEL	30	-
3	メモリ変更1GB(1GB×1)→4GB(2GB×2) (DDR3 SDRAM/PC3-10600、SO-DIMM)	FMCXM6D74	30	-
4	スーパーマルチ(厚型)追加	FMCXSMD74	30	-
5	リカバリデータディスク+ドライバーズディスク追加 (Windows7 Professional)	FMC-RDD74A	30	-
6	Trend ウイルスバスターCorp. CL 新規ガバメント 25-49	E514550L4B	30	-
7	Office XP Pro用ライセンス (Office Professional Plus 2010)	E514514BGA	30	インストールメディアは機構様のご用意を想定 最低購入数の確認必須。 日刊ラインリストでAccessが必要になる。
8	SKYSEA Client View Gov LightEdition	-	30	クライアント管理のソフトウェア

⑬プリンタ

項	品名	型名	数量	備考
1	XL-9440E	XL-9440E	1	A3対応モノクロレーザプリンタ ウォームアップタイム 片面A4:44枚/分
2	プリンタRAMモジュール-256MB	XL-EM256MC	1	両面印刷時、高解像度の印刷の際必要。
3	拡張給紙ユニット	XL-EF55MC	2	増設カセット
4	両面ユニット	XL-DUPMC	1	

副作用等情報管理システム ネットワーク構成図

